※令和４年度以降入学生用

学校番号	1003

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	(学)アドバンス国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	論読　現代文２（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

大学や短期大学への進学希望者の生徒向けです。主に現代文の評論・随筆・小説等の文章を読み、問題を解き、課題文の要約や説明を行う練習を積み重ね、これまでに学習した国語の力を確実なものとし、読解力、論理的思考力、表現の深化をめざし、入学試験に対応できる実践力を鍛えるための科目です。

2　学習の到達目標

（１）問題演習を通して、現代文の文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
（２）漢字・語句・表現の課題学習を通して、読解の基礎力を身につける。
（３）文章を読む中で、ものの見方、感じ方、考え方を深めることによって実践力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	問題演習を通して、各自の進路に必要な国語の知識や技能を身につけている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者(作品含む)との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。また、深く共感したり豊かに想像したりする力が伸長している。	文章（言葉）がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、文章(言葉)を通して他者や社会に関わろうとする力を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・問題演習を通して、登場人物の心情を理解する。 ［教材］ 小説	a：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 b[読]：人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、自分の意見を述べることができる。 ［書］：短い論述をまとめる練習を行う。 c：人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉えている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 小テスト 定期考査	振り返りシート
2学期	・問題演習を通して、筆者の思いや気持ちを理解する。 ［教材］ 随筆	a：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。 b[読]：考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。 ［書］：短い論述をまとめる練習を行う。 c：考え方の進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を正確に捉えようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 小テスト 定期考査	振り返りシート
3学期	・問題演習を通して、筆者の主張を理解する。 ［教材］ 評論	a：文中に出てくる語彙や漢字について理解している。 b[読]：文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 ［書］：短い論述をまとめる練習を行う。 c：筆者独自の考えを正確に読み取ろうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 小テスト 定期考査	振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間